自ら考え、自ら行動できる生徒を育てる

具体目標

- ① 日本語を正しく使って、考えたり表現したりできる生徒の育成
- ② 他人の立場で物事を考え、多様な集団の中で協働できる生徒の育成
- ③ 目的意識をもって自分から努力できる生徒の育成
- ④ 正しい知識や情報を収集し、有効に活用できる生徒の育成

本年度の重点目標

- ア 多様性を認め、自他の心と体を大切にする教育の実践
 - ・部活動や生徒会活動などを通して、目標達成のための計画や振り返りを行う中で客観的に 自分自身を見つめ直すなどの経験を重ねられる場面を作る。また、役割を担うことで有用感 を高められるよう配慮する。
 - ・家庭との連携を図り、生活リズムや健康の管理を自分自身でできる習慣をつける。
 - ・さまざまな機会を捉え、自分自身や相手を大切に思う気持ちを育てる。
- イ 生徒一人一人に応じた日本語力や、基礎学力の向上を目指した教育環境づくり
 - ・配慮事項を共通理解し、主体的に考える場面作りを重視した授業を実践する。
 - ・読書活動や新聞ワーク、掲示物の工夫などを行い、生徒が主体的に情報を収集しようとする環境を作る。
 - ・日記指導や作文指導などを通して、考えを文章にしてまとめたり、発表したりする場面を設 定する。
- ウ 生徒の自己理解や障害認識を深めながら取り組むキャリア教育の実践
 - ・キャリアパスポートを活用し、生徒自身が目標を設定し、評価を行う中で目的意識をもって活動できる経験を積み重ねる。
 - ・生徒が保護者、教員とともに評価を行うことで、自らを客観的に評価する力を身につける。
 - ・高等部の先輩や聴覚障害の方々の話を聞く機会を作ることで将来に対する見通しを持ち、 同世代の健聴の生徒と交流体験もあわせて、正しい障害認識や自己理解を深めていく。

学年別週当たり授業時数

OA グループ

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術·家庭	外国語	自立活動	特別の教科道徳	総合的な学習の時間	特別活動	週時間数
1年	4	3	4	3	1	1	3	2	4	1	1	2	1	30
2年	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	1	30
3年	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	1	30

*実態に応じた週時数で、学習を進めます。

○B グループ

	教 科							教科領域を合 わせた指導		特別の	総合的	特別活動	週時間数
	田福田	数学	音楽	美術	保健体育	外国語	職業家庭	生活単元学習	自立活動	特別の教科道徳	な学習の時間	動	数
1年	4	4	1	1	3	4	2	6	1	1	2	1	30
2年	4	3	1	1	3	4	2	7	1	1	2	1	30
3年	3	4	1	1	3	4	1	8	1	1	2	1	30